

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	132041	事務事業名	回天記念館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200203	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(3)平和発信の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民、入館者及び資料(遺品等)提供者	事業の目的(意図)	入館者に平和の尊さについて考察を深めてもらうとともに、大津島の振興にも寄与する。
事業の内容(手段)	・回天記念館の適切な管理運営及び、平和学習を行う。 ・命と平和の尊さについて考える機会を提供する施設として、回天関係資料の展示及び解説や講話、講座等を通じて、平和啓発を行う。 S43.11開館。開館時間:8:30~16:30。休館日:水曜日及び年末年始。入館料:大人300円(団体240円)、18歳以下無料。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					入館者数	回天記念館の年間入館者数	人
				実績値	12,166.0	13,891.0	
				達成度(%)	71.6%	81.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	7,912	8,290	8,308	19,616
うち一財		千円	3,986	4,415	4,805	5,144	4,805
(決算額)	直接事業費	千円	6,986	7,563		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	4,139	3,937		デジタルミュージアムシステムの導入(11,000千円)	
	正職員人件費	千円	2,345	1,547			
	人工数	人	0.32	0.21	0.16		
	支出コスト	千円	決) 9,331	決) 9,110			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	S44施設寄贈以降、委託による管理運営を行ってきたが、H10年の施設リニューアルを機に直営化した。入館者数は映画「出口のない海」の影響でH18年度に過去最高を記録した。その後は、約15,000人前後で推移し、戦後70年のH27年度は一時的に増加した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・資料の整理と調査を進めるとともに、回天の歴史等を後世に伝えるために、収蔵品のデータベース化や長期的な運営体制づくりと人材確保が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	回天の史実や記念館の活動を知ってもらうための取り組みを、今後も継続的に実施し、来館者に平和を考える機会を提供する平和学習施設として運営していく。		評価責任者コメント	平和の尊さや戦争の悲惨さを考える機会を提供する平和学習施設であり、周南市の特色ある施設として知名度の向上と展示解説等・講話を実施するスタッフの体制維持に努める。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
約1000点の収蔵品についてデータベース化を進めるため、デジタルミュージアムシステムを導入する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の管理運営	入館者数:17,000人	・入館者数:13,891人 ・問い合わせ対応及び展示品の解説と更新 ・嘱託等の雇用、契約、経理事務等	5,952		0.10	4.00
				否			
②	平和学習啓発活動の実施	平和の尊さと戦争の悲惨さについて考える機会を提供する。	・夏休み親子教室の実施 ・団体客に対して講話の実施	1,611		0.11	1.00
				否			
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	132059	事務事業名	尾崎記念集会所管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	地域のふれあい活動及び芸術にふれる機会を創出する。
事業の内容(手段)	・効率的な管理運営を行う。 ・尾崎正章氏の小作品を鑑賞する機会を提供する。 尾崎正章氏より寄贈された病院建物(大正13年築)を改修し、平成5年11月開館。休館日:月曜・祝日、年末年始。入館料:無料		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
利用者数	尾崎記念集会所の年間利用者数	人	目標値	1,600.0	1,600.0	1,600.0	
			実績値	1,264.0	1,176.0		
			達成度(%)	79.0%	73.5%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	587	581	576	578	578
(予算額)	うち一財	千円	586	580	575	577	577
直接事業費	千円	563	564		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	562	563			
正職員人件費	千円	366	147				
人工数	人	0.05	0.02	0.02			
支出コスト	千円	決) 929	決) 711				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H4年度に寄贈を受け、H5年度に開館した。H7年度に郷土美術資料館が開館(尾崎正章作品を常時展示)した。H14年度には福川地区コミュニティセンターが開館した。H20年度以降、市民団体が読み聞かせ活動を実施(福川小学校から移動)している。H26年度に、アトリエ兼住宅を解体した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 安心安全の観点から、施設の改修並びに解体について検討するとともに、実施の際には利用者と合意形成を図る必要がある。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	旧新南陽市ゆかりの尾崎氏から寄贈された旧尾崎病院を、尾崎正章氏の小作品が鑑賞できる展示室と集会所を併せ持つ施設として改築し、長く地元で慕われてきた建物であり、地域の婦人会に管理を委託しているが、施設の大規模な改修には多額の経費が必要なことから、困難と考えており、施設点検マニュアルに沿った適切な管理に努めていく。		評価責任者コメント	施設の老朽化に伴い、将来的には廃止も視野に入れた検討をする必要があるが、それまでの間は適切な管理に努める。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
大規模な改修等は困難なため、管理業務委託者と連絡を取りながら、安全上の問題等が生じないように努める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の管理運営	利用者数:1,600人	・利用者:1,176人 ・施設の管理運営 ・利用者への対応	564 可	0.02		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151003	事務事業名	文化振興一般事務費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	文化振興事務の円滑化を図る。
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化振興に係る事務を円滑に進める。</li> <li>・文化振興財団、文化協会等の文化関係団体との連携を深める。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					後援件数	年間後援等名義使用承認件数	件
				実績値	38.0	39.0	
				達成度(%)	63.3%	65.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	555	642	1,875	1,824
	うち一財	千円	555	642	1,875	1,824	1,824
(決算額)	直接事業費	千円	444	348		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	444	348			
	正職員人件費	千円	2,345	1,768			
	人工数	人	0.32	0.24	0.24		
	支出コスト	千円	決) 2,789	決) 2,116			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H21年度の機構改革に伴い、社会教育一般事務費から分離設定。 H25年度から市長部局に移管。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 文化振興施策を実施するうえで、専門的知識と情報を有する文化振興財団等と連携を密にとる必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	施設管理のみならず、市民や団体の文化活動を支援するとともに、ソフト事業の充実を図っていけるように、文化振興の担い手として期待する文化振興財団と共に取り組む。	評価責任者コメント	文化振興財団を育成していくとともに、財団と文化協会との連携も視野に市全体の文化振興の担い手として組織強化を検討・支援する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
旅費等について精査した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	文化振興の一般事務	後援等名義承認件数:60件	<ul style="list-style-type: none"> <li>・後援等名義承認件数:39件</li> <li>・各種照会回答、大会挨拶及び表敬対応等の事務一般</li> </ul>	116	0.16		
				否			
②	文化振興の検討	文化振興財団との連携	・文化振興事業に係る事務	232	0.07		
				否			
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151008	事務事業名	市美術展開催費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	広く一般から作品を募ることで、市民の創作活動を促し美術に対する関心を高めるとともに、鑑賞を通して市民文化の振興を図る。
事業の内容(手段)	周南市美術展の開催 平面・立体・書・写真の4部門で審査は公開、出品は一人1部門2点まで(出品料:1点目1,000円、2点目700円)美術博物館を会場に例年10月に開催(前期後期各5日間)し、観覧料は無料		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					出品点数	市美術展に出品された点数	点
				実績値	336.0	350.0	
				達成度(%)	112.0%	116.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	1,468	1,504	1,508	1,550
うち一財		千円	1,198	1,211	1,193	1,236	1,236
(決算額)	直接事業費	千円	1,450	1,458		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	1,137	1,135			
	正職員人件費	千円	1,978	1,842			
	人工数	人	0.27	0.25	0.25		
	支出コスト	千円	決) 3,428	決) 3,300			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H15年度から出品料を徴収して、入選及び落選を設けたコンテスト方式に改め、応募作品のレベル向上を図っている。また出品数の増加を図るため、H22年度から一人1部門につき2点出品を可能とした。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 ・出品点数の増加と部門間におけるアンバランスの解消を図る術を検討する必要がある。 ・文化振興財団との共催事業とすることを協議する。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	継続して目標を達成できるように、開催要項等の改善に取り組んでいく必要があるため。
	事務事業の方向性	毎年、有識者で組織される運営委員会を開催し、公平な運営と市民の目標・励みとなるような開催要項を検討しており、今後も継続実施していく。		評価責任者コメント	市民や文化協会、市民文化団体等の目頃の取り組みの成果を発表する場として、出品点数が増える仕組みを継続的に検討する。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
今後も市民の目標とされる展覧会として開催していくために、開催要項の検討を継続的に行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市美展の開催	出品点数:300点	・出品点数:350点 ・募集要項の作成、作品の搬入出、運営委員会・審査会・表彰式・展覧会の開催	1,458 可	0.25		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151011	事務事業名	文化行事等開催			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	山口県母の合唱連盟、山口県合唱連盟	事業の目的(意図)	市民文化の更なる振興と一体感の醸成を図るため、県事業などとの連携や市民による文化事業を支援・後援する。
事業の内容(手段)	県及び県文化団体との連携による県総合芸術文化祭事業の開催地(共催)支援および周年事業に対する支援を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	-	2.0	-
					実績値	-	2.0	-
					達成度(%)	-	100.0%	-

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	-	500	-	200	-
	(予算額) うち一財	千円	-	500	-	200	-
	直接事業費	千円	-	500		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	-	500			
	正職員人件費	千円	-	147			
	人工数	人	-	0.02	-		
支出コスト	千円	-		決) 647			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	県総合芸術文化祭が開催されるにあたり、市民文化の更なる振興と一体感の醸成を図るため、県事業などとの連携や市民による文化事業を支援・後援することとなった。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 各団体の運営体制と事業内容を精査しつつ適切に支援する必要がある。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	県と連携し、県総合芸術文化祭開催と文化振興・一体感醸成のための支援を行っていく。	評価責任者コメント	適切に補助金交付が行われ、各団体に対して適切な支援を行うことができ、県総合芸術文化祭が開催されることで文化振興を行うことができた。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
県総合芸術文化祭2019分野別フェスティバルの第56回山口県俳句大会が周南市で開催されるため、支援を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	文化事業等開催費補助金	県総合芸術文化祭開催のための支援	山口県母の合唱連盟30万円、山口県合唱連盟20万円	500 否	0.02		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151014	事務事業名	文化会館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	文化会館の良好な活動環境と快適な鑑賞空間を維持し、質の高い舞台芸術・展覧会・講演会などを提供する。
事業の内容(手段)	文化会館を安全かつ効率的に管理運営し、舞台芸術等の鑑賞機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~32)。休館日:第1・3水曜日・年末年始。開館時間:9時~22時。 施設:大ホール(1800人収容)、練習室、リハーサル室、展示室等		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	70.0	70.0	70.0
					実績値	75.0	74.8	
					達成度(%)	107.1%	106.9%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	128,771	130,886	131,579	130,001	138,779
(予算額)	うち一財	千円	79,391	83,069	83,432	80,531	89,647
直接事業費	千円	128,750	130,886		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	79,559	79,899		ホール音響設備保守点検委託料の減等	
正職員人件費	千円	1,465	737				
人工数	人	0.20	0.10	0.10			
支出コスト	千円	決) 130,215	決) 131,623				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H18年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。周南市文化振興財団はH25年度から公益財団法人に移行した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 文化振興に資する施設を利用した公益事業と収益事業の効率的な管理運営が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	継続して目標値を達成するために、文化振興財団と連携し改善に努めていく必要があるため。
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団が有するノウハウを活かせるように、随時連絡調整の場を設け、指導も含め緊密な連携を図る。		評価責任者コメント	公益財団法人として一定の制約はあるが、経営という視点で、施設の利用者(出演者、観覧者等)へのサービスやチケットの販売促進など営業努力が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち4年目)における債務負担行為による予算措置である。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の管理運営	使用率:70%	・使用率:74.8%、利用者数:300,718人 ・財団との連絡調整、年度協定、歳入調定、各種許可及び報告受理等	130,886 可	0.10		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151017	事務事業名	文化会館整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	施設利用者	事業の目的(意図)	文化会館を鑑賞及び発表の場として、利用者が安心して快適に利用できる環境を提供する。
事業の内容(手段)	計画的な改修を行い、施設と設備の長寿命化を図る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	屋根防水改修	2階レストラン空調機改修	冷却水ポンプ
					実績値	屋根防水改修	2階レストラン空調機改修	
					達成度(%)	—	—	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	72,378	12,552	3,913	19,466	113,154
(予算額)	うち一財	千円	16,889	3,252	3,913	2,066	14,054
直接事業費	千円	46,370	6,048		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	11,216	1,548		高架水槽改修のため	非常用放送設備、中央監視盤、スプリンクラー・消火栓ポンプ改修のため
	正職員人件費	千円	1,099	810			
	人工数	人	0.15	0.11	0.11		
	支出コスト	千円	決) 47,469	決) 6,858			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	S57年に開館し、H12年から5年をかけて大規模修繕を行った。指定管理者制度のもと、軽微な修繕は指定管理者が実施している。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 建設から30年以上が経過し、更新を要する設備や施設の老朽化が見られるため、観覧者や施設利用者に安全で快適に使用していただくために整備が必要である。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	周南市の文化拠点施設の一つであり、施設の長寿命化を図るとともに、時代の変化や利用者ニーズに即した計画的な改修を、文化振興財団や建築課と協議し、財政課と相談しながら実施する。		評価責任者コメント	ライフサイクルコストを踏まえた改修・修繕について、計画性のある対応が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
施設の長寿命化を図り、利用者に快適な環境を提供するために必要な改修を行っており、今回は文化会館屋上に設置してある高架水槽を改修する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の整備	利用者に良好で快適な環境を提供する。	・2階レストラン空調機改修工事	6,048 否	0.11		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151030	事務事業名	文化振興団体助成事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市内文化振興団体(周南市文化振興財団、周南文化協会、周南郷土伝統芸能保存協会)	事業の目的(意図)	市民の文化活動を振興する団体を支援することで、市民が文化芸術活動に触れる機会を増加させる。
事業の内容(手段)	各団体の運営及び事業に対して補助支援を行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					企画事業入場者数	文化振興財団による企画事業の入場者数	人
				実績値	8,512.0	8,650.0	
				達成度(%)	85.1%	86.5%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	27,612	31,388	30,602	26,082
うち一財		千円	27,612	29,388	26,602	26,082	27,378
(決算額)	直接事業費	千円	26,568	30,664		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	26,568	28,664		市民芸術文化祭、周南郷土伝統芸能大会の補助金減による。	映像記録事業を行う。
	正職員人件費	千円	1,758	1,916			
	人工数	人	0.24	0.26	0.31		
	支出コスト	千円	決) 28,326	決) 32,580			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	文化振興財団に対する退職手当精算補助はH22年度で完了し、H25年度から文化協会等への補助支援事業を統合して、文化振興団体助成事業とした。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 各団体の運営体制と事業内容等を精査しつつ、適切に支援する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	各団体の運営強化及び特色ある事業に対して支援を継続する。	評価責任者コメント	専門性と実績を有する文化振興財団が行う特色ある事業を支援することは、市民文化の振興に寄与することから、継続的な支援が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
市内の文化振興団体への支援を継続し、市民の文化活動の振興に努める。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	文化振興財団運営の補助	文化振興財団の運営を支援し、市の文化振興を図る。	連絡調整、補助金交付	25,433	0.02		
				否			
②	文化協会活動の補助	文化協会の活動を支援し、市民の文化活動の活性化を図る。	連絡調整、補助金交付	2,558	0.02		
				否			
③	伝統文化活性化事業の補助	郷土伝統芸能保存協会の活動を支援し、市民の歴史的な文化活動の維持を図る。	連絡調整、補助金交付	1,820	0.11		
				否			
④	伝統芸能の記録作成	伝統芸能の継承を支援する。	映像記録の作成	853	0.11		
				可			
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151032	事務事業名	美術博物館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	快適な鑑賞空間で優れた美術・芸術にふれる機会を提供し、美術文化に対する関心を高める。
事業の内容(手段)	美術博物館の適切かつ効率的な管理運営を行い、郷土の歴史や質の高い美術の鑑賞機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~32)。休館日:月曜日・年末年始。開館時間:9時30分~17時。 施設:展示室5・収蔵庫他		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					入館者数	美術博物館の年間入館者数	人
				実績値	84,413.0	75,713.0	
				達成度(%)	76.7%	68.8%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	137,359	133,779	135,301	135,256
うち一財		千円	134,263	130,862	132,557	131,920	142,715
(決算額)	直接事業費	千円	137,339	133,745		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	134,158	130,243			
	正職員人件費	千円	1,465	737			
	人工数	人	0.20	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 138,804	決) 134,482			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H18年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。 周南市文化振興財団はH25年度から公益財団法人に移行した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 指定管理者である文化振興財団に対して、常設展示の充実など施設の機能を生かした普及事業について連携を図りながら積極的に取り組むよう指導する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由 美術・芸術にふれる機会を提供し、美術文化に対する関心を高めるという目的は達成できたと考えるが、特別展の「武井武雄展」が観覧者数に結びつかず、入館者数の数値目標達成に及ばなかった。
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団が有するノウハウを活かせるように、随時連絡調整の場を設け、指導も含め緊密な連携を図る。	評価責任者コメント	専門性は高く、収益性は低いことや、収蔵品(市の財産)を有することなどから、指定管理者制度を活用し、連携を密に取りながら効率的な施設の管理運営が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち4年目)における債務負担行為による予算措置である。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の管理運営	入館者数:110,000人	・入館者数:75,713人、展覧会数(うち一般貸出):24件(15件) ・財団との連絡調整、年度協定等	133,745	0.10		
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151035	事務事業名	美術博物館資料収集事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	美術品等	事業の目的(意図)	後世に残すべき特色のある芸術品や歴史を伝える資料などを収集し、市民共有の財産として展覧会を開催する。
事業の内容(手段)	郷土ゆかりの優れた作家の作品や特色ある芸術品、郷土に関わりのある歴史資料などを、資料収集委員会の承認を経て収集する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	3.0	3.0	3.0
					実績値	9.0	15.0	
					達成度(%)	300.0%	500.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	4,441	4,441	3,067	3,045	3,045
(予算額)	うち一財	千円	4,441	4,441	3,067	3,045	3,045
直接事業費	千円	4,383	4,348		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額)	うち一財	千円	4,383	4,348			
正職員人件費	千円	659	958				
人工数	人	0.09	0.13	0.13			
支出コスト	千円	決) 5,042	決) 5,306				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H15年度以降は購入を中止していたが、H21年度から再開した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 文化振興財団と連携し、計画的な収集と活用に努める必要がある。
	評価	A A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	文化振興財団と連携し、収集計画の見直しも含め、収集の方針と収集品の活用について検討しながら進めていく。	評価責任者コメント	絵画、資料等の収集とともに、今後も、収蔵品の定期的な展示など積極的な活用を継続していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など) 資料収集に係る委員会や委託費等の経費について精査した。	備考
--	----

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	資料の収集	新規収集点数:3点	・収集点数:15点(寄贈を含む) ・資料収集委員会の開催、寄付採納、文化振興財団との連絡調整等	3,975 可	0.11		
②	資料の調査	所蔵資料の適切な管理と活用	・収蔵資料の撮影及びデジタルデータ化	373 可	0.02		
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151039	事務事業名	美術博物館特別展覧会等開催事業費		
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	①市民 ②近隣市民等	事業の目的(意図)	本市にゆかりのある作家の顕彰や関連する内容を、調査研究し独自に企画した本市ならではの意義ある展覧会を開催することで、美術に対して市民等の関心を高める。
事業の内容(手段)	まどみちおと同時代に活躍した「日本童画のパイオニア」と称される武井武雄の展覧会「武井武雄展」及び地元で活躍する作家の近作を紹介する秀作美術展「しゅうなんアート・ナウ2017」を開催した。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
特別展観覧者数	特別展の観覧者数	特別展の観覧者数	人	28年度	8,000.0	8,000.0	8,000.0
				29年度	6,799.0	4,514.0	
				30年度	85.0%	56.4%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	11,579	11,999	11,038	11,038
うち一財		千円	6,814	4,469	3,238	5,523	5,523
(決算額)	直接事業費	千円	11,578	11,998		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	6,027	6,348			
	正職員人件費	千円	1,099	1,695			
	人工数	人	0.15	0.23	0.24		
	支出コスト	千円	決) 12,677	決) 13,693			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	美術博物館の開館以来、年に1回、周南市ならではの質の高い特別展を開催している。「尾崎正章」「宮崎進」「まど・みちお」「徳山毛利家」「児玉源太郎」等	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 アート・ナウ展は、出品依頼作家の増加から、展示スペース等の問題があるため、引き続き展覧会内容等を関係者と協議しながら検討していく必要がある。	
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	まどみちおと同時代の日本童画の作家である武井武雄の展覧会を開催。絵画のみならず、版画、玩具など多岐に渡る活動の展示をすることで、本市ならではの展覧会として市民に紹介できたが、観覧者数には結びつかなかった。
	事務事業の方向性	特別展の開催は、文化振興財団に委託しているが、調査研究も必要となることから計画的なテーマの選定と予算措置を行っていく。また、アート・ナウ展は、関係者と協議し、軽微な変更を加えており、今後も開催要項を検討していく。	評価責任者コメント	特別展は、計画的に周南市ならではのテーマを選定し、企画力の高いものとなるように調査研究に努める必要がある。アート・ナウ展は、開催方法の見直しなどを継続して検討する。	

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
文化振興財団と連携し、本市ならではの質の高い展覧会を開催する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	特別展の開催	観覧者数:8,000人	観覧者数:4,514人	11,605 可	0.11		
②	アート・ナウ展の開催	地元作家のレベルの向上とレベルの高い作品鑑賞の場を提供する。	・観覧者数:2,140人 ・出展依頼、目録作成、作品の搬入出、展覧会内容の見直し等	393 可	0.12		
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151047	事務事業名	美術博物館企画事業助成事業費		
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	全国発信事業を実施し、本市の文化的知名度及び市民の誇りを高める。また、地方において観覧機会の少ない大規模あるいは意義ある展覧会を開催し、質の高い美術芸術を提供する。
事業の内容(手段)	全国発信事業である「林忠彦賞」の運営及び、文化振興財団主催の企画展覧会「シンジカトウ・ワールド」及び「周南人物列伝」等の開催を支援		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					企画事業観覧者数	企画事業全般の観覧者及び参加者	人
				実績値	34,795.0	35,242.0	
				達成度(%)	99.4%	100.7%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	14,353	13,119	12,333	10,697
うち一財		千円	14,353	13,119	12,333	10,697	10,697
(決算額)	直接事業費	千円	14,353	13,119		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	14,353	13,119		「周南人物列伝」の事業内容の見直しを図るため、一時休止。	
正職員人件費	千円	220	442				
人工数	人	0.03	0.06	0.06			
	支出コスト	千円	決) 14,573	決) 13,561			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H3年から林忠彦賞を実施しており、文化振興財団が賞のレベル向上に努めている。文化振興財団主催の魅力ある展覧会(年2回)を開館以来開催している。H24年度から周南人物列伝展を開催している。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 文化振興財団に対して、収益も見込める企画展覧会や市民文化の向上に寄与する啓発活動としての企画事業への積極的な取り組み及び内容の検証に努めるよう助言するとともに、支援する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない理由	
	事務事業の方向性	「林忠彦賞」は市の知名度や文化的イメージの向上に、企画展覧会及び企画事業は幅広い世代を対象として市民文化の啓発に寄与していることから、補助内容や企画内容を検証しながら、引き続き補助を実施する。		評価責任者コメント	林忠彦氏を顕彰して創設された全国発信事業であり、関係者への認知度も高まり、継続して実施する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
文化振興財団と協議し、「周南人物列伝」の内容を見直しするため、一時休止することとした。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	林忠彦賞企画運営の補助	周南市独自の文化を全国に発信する。	「第26回林忠彦賞」授賞式5月12日(150人)、東京展5月12～18日(観覧者11,202人)、周南展5月26～6月4日(観覧者1,437人)	9,005	0.02		
				可			
②	企画展覧会開催の補助	魅力ある美術芸術を市民に提供する。	「シンジカトウ・ワールド」6月9日～7月30日(観覧者9,729人)	2,025	0.02		
				可			
③	企画事業の補助	市ゆかりの人物を市民にアピールする。	「周南人物列伝」6月11日16～26日(観覧者619人) 美術博物館講座3回(参加者88人)	2,089	0.02		
				可			
④							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151050	事務事業名	美術博物館整備事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	施設利用者	事業の目的(意図)	美術博物館の良好な収蔵環境と快適な鑑賞空間を維持し、身近に美術作品を鑑賞できる環境を提供する。
事業の内容(手段)	計画的な改修を行い、施設と設備の長寿命化を図る。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度	
					目標値	展示壁面改修	防災監視盤改修	エレベータ改修
					実績値	展示壁面改修	防災監視盤改修	
					達成度(%)	—	—	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	14,081	28,805	69,212	0	7,606
(予算額)	うち一財	千円	14,081	7,305	6,520	0	7,606
(決算額)	直接事業費	千円	11,826	16,254		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	11,826	4,154		改修工事を行わないため	換気ファン改修等のため
	正職員人件費	千円	1,099	810			
	人工数	人	0.15	0.11	0.11		
	支出コスト	千円	決) 12,925	決) 17,064			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H7年に開館し、H27年に開館20周年を迎えた。		課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 美術品等を収蔵・展示することから、空調等に細心の注意を払い、年間を通じて適正に温湿度を管理する必要があり、施設・設備の改修・修繕が必要となる。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)		達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	周南市の文化拠点施設の一つであり、施設の長寿命化を図るため、文化振興財団や建築課等と協議をし、財政課に相談しながら計画的に改修を実施する。		評価責任者コメント	ライフサイクルコストを踏まえた改修・修繕について、計画性のある対応が必要である。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
施設の長寿命化を図り、利用者に安全で快適な環境を提供するために必要な改修を行うこととしているが、今回は喫緊で改修を必要とする設備等がないため、見送ることとした。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の整備	来館者に快適な環境で鑑賞の場を提供する。	・防災監視盤等改修工事設計業務委託 ・エレベータ改修工事設計業務委託	16,254 否	0.11		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151053	事務事業名	郷土美術資料館管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	公園内という立地から館を身近に感じてもらえるような事業にも取り組みながら、郷土美術の鑑賞の機会を提供する。
事業の内容(手段)	会期中のコンサート開催や公園イベント時の館前でのグッズ販売など、館の知名度向上に努め、郷土作品を身近で鑑賞できる機会を提供する。 指定管理者:周南市文化振興財団(H28~R2)。休館日:月曜日・年末年始。開館時間:9時30分~17時。 施設:展示室4、ロビー・ワークルーム		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					目標値	実績値	達成度(%)
入館者数	郷土美術資料館の年間入館者数	人	目標値	8,000.0	8,000.0	8,000.0	
			実績値	6,618.0	7,541.0		
			達成度(%)	82.7%	94.3%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	15,491	12,791	15,491	12,929
うち一財		千円	15,215	12,539	15,252	12,724	16,198
(決算額)	直接事業費	千円	15,489	17,291		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	15,324	17,058		燻蒸委託料減のため	
	正職員人件費	千円	366	737			
	人工数	人	0.05	0.10	0.10		
	支出コスト	千円	決) 15,855	決) 18,028			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H20年度から指定管理者制度を導入し、周南市文化振興財団を相手方としている。周南市文化振興財団はH25年度から公益財団法人に移行した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 美術博物館との連携や差別化など、独自性のある事業を研究・検討するとともに、施設の老朽化や設備の更新などの整備が必要である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	指定管理者である文化振興財団と随時連絡調整の場を設け、指導も含め緊密な連携を図り、立地を生かした事業など館の運営方針を検討していく。	評価責任者コメント	効果・効率的な運営方法の検討を続けていく必要がある。また、空調など施設設備等の更新なども中長期的な方向性を視野に入れながら対応する必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
指定管理期間(5年間のうち4年目)における債務負担行為による予算措置である。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の管理運営	入館者数:8,000人	・入館者数:7,541人、展覧会数(うち一般貸出):6件(2件) ・財団との連絡調整、年度協定等	12,791	0.10		
				可			
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	151066	事務事業名	須金和紙センター管理運営事業費			
担当部・課名	地域振興部 文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田 義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200201	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	2文化・芸術活動の振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)文化芸術活動の促進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	市民及び近隣市民等	事業の目的(意図)	地域に根ざした伝統文化を伝承・維持するために、和紙作りを体験する機会を提供する。
事業の内容(手段)	須金和紙振興協議会が定期的に和紙絵教室を開催しているほか、体験学習として紙漉き体験を受け入れている。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
					利用者数	須金和紙センターの利用者数	人
				実績値	355.0	309.0	
				達成度(%)	88.8%	77.3%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	408	415	417	438
うち一財		千円	408	415	417	438	438
(決算額)	直接事業費	千円	390	410		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	390	410			
	正職員人件費	千円	220	147			
	人工数	人	0.03	0.02	0.02		
	支出コスト	千円	決) 610	決) 557			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H3年に建築され、須金和紙振興協議会(事務局:須金公民館)が定期的な活動を行うほか、紙漉き体験などを受け入れている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 施設の発信力を高めていく方法等について、地元団体及び関係課と協議する必要がある。
	評価	C	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	地域に伝わる伝統工芸の伝承という観点から、情報発信等について、須金公民館も含め関係団体及び関係課と連携・協議を重ねていく。		評価責任者コメント	須金の地域施設としての視点も持ちながら、施設の設置目的や意義と継続性を関係課や関係団体と協議していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
地元関係団体や支所等と連絡調整しながら運営を行う。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	施設の管理運営	利用者数:400人	利用者数:309人 須金和紙振興協議会及び須金支所との連絡調整、施設管理	410 可	0.02		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017056	事務事業名	スポーツ振興一般事務費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民及び各大会等参加者	事業の目的(意図)	市民が取り組むスポーツ活動に対し行政として積極的にサポートすることで、市民の自発的な活動を促し、スポーツ社会の進展が図られる。(後援・共催件数 H29目標:150件)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。</li> <li>●学校施設のスポーツ開放を実施する。</li> <li>●中国山口駅伝に対する助成を行う。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					後援・共催件数	達成件数/目標件数	件	目標値	150.0	150.0	150.0
								実績値	142.0	153.0	
								達成度(%)	94.7%	102.0%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,072	1,655	1,179	1,674	1,179
		うち一財	千円	2,072	1,655	1,179	1,674	1,179
	(決算額)	直接事業費	千円	1,618	1,522		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	1,618	1,522			
		正職員人件費	千円	3,737	2,358			
		人工数	人	0.51	0.32	0.28		
	支出コスト	千円	決) 5,355	決) 3,880				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	スポーツを通じた交流を促進し、市民の一体感や活力を醸成するうえで、学校施設や企業施設等の活用、スポーツ団体やボランティアを含めた対応が必要となっている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 スポーツ開放の手続きについて、総合支所・教育委員会と連携して効率的な事務処理を検討し見直しを図ってきたが、新庁舎移転も踏まえ、関係課と連携し適切な運用を進めていく必要がある。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	スポーツ振興だけでなく本市の活性化の一助となる世界大会等キャンプ地誘致活動も行っていく。	評価責任者コメント	少子・高齢化が進み、地域でスポーツ活動を続けることが難しくなっている事例も出ている。学校、スポーツ団体、ボランティアの活用により、人や地域を繋げる取組を積極的に支援すること。また、スポーツコンベンションと位置付けられる取組み(経済効果が発揮できる仕掛け)を促進すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
スポーツ推進計画策定費用や聖火リレー実施負担金等により予算が増額となったが、需用費の見直しにより増加額を最小限度とした。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	スポーツ振興一般事務	市内で開催されるスポーツコンベンションや各種大会に対して、共催や後援の支援を行う。	スポーツ振興を促進するための共催・後援件数150件	775 否	0.10		
②	スポーツ開放	学校施設を利用したスポーツ活動の推進	施設を有効活用し、住民ニーズを満たすためのスポーツ開放施設数32施設及び利用団体数220団体	50 否	0.15		
③	中国山口駅伝	大会運営に対する助成(補助金)	大会運営を円滑にし、市民に身近な大会になるようサポートする(大会参加者数(観衆、ボランティア等を含む)1,000人)	100 可	0.06		
④	世界大会等キャンプ地誘致事業	31年度以降の世界大会の開催に合わせてキャンプ地等の誘致や関連する取組を推進することで地域の活性化を図る。	誘致に向けた情報収集、トレーニングガイドブックなどの誘致ツール等による情報提供、競技団体等の関係者へのアプローチ	280 可	0.01		

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017057	事務事業名	体育協会関連事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民及び体育協会加盟団体の構成員	事業の目的(意図)	市民のスポーツへの関心を高めるとともに競技力の向上を図り、体育協会へ運営費を補助する。スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助をする。 (県体・国体への選手等派遣 H29目標:950人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民等のスポーツへの関心を高め競技力の向上を図るため、体育協会へ運営費を補助</li> <li>●スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	山口県・国民体育大会への選手派遣人数	達成人数/目標人数	人	目標値	950.0	950.0	950.0
			実績値	753.0	871.0		
			達成度(%)	79.3%	91.7%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	9,710	15,074	14,690	14,895	14,895
(予算額) うち一財	千円	9,710	15,074	14,690	14,895	14,895	
直接事業費	千円	9,710	15,074		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	9,710	15,074				
正職員人件費	千円	659	589				
人工数	人	0.09	0.08	0.08			
支出コスト	千円	決) 10,369	決) 15,663				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	公益法人制度改革により、平成25年4月に財団法人周南市体育協会から公益財団法人周南市体育協会として公益認定された。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 本事業の内容と手法が競技力向上や団体活性化を促し、スポーツ人口の拡大のために有効に機能しているかしっかりと見定める必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	施設等の補修整備を計画的に進め、体育協会及び加盟団体がスポーツ振興に積極的に取り組める環境作りを進める。		評価責任者コメント	本事業は体育協会の取組みを支援する事業であるが、現在の事業内容が競技力向上と団体の活性化を促し、スポーツ人口の拡大に繋がっているか検証していく必要がある。引き続き体育協会のスキルの向上を支援するとともに、インセンティブを高め、自主的活動を促進する仕組みを検討すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
体育協会の取組みが、競技力の向上や大規模大会の誘致に繋がるよう支援する。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	周南市体育協会運営費補助金	県体育大会、国体等や、全国規模の大会に出場する選手を増やす。	市民等のスポーツへの関心を高め競技力の向上を図るため、体育協会へ運営費を補助	13,574	0.04		
				否			
②	全国大会等誘致開催補助金	大規模大会を誘致することで、観る人、支える人に重点をおいたスポーツの推進に取り組む。	スポーツコンベンション推進のため、全国大会等誘致開催に対する補助	1,500	0.04		
				否			
③							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017060	事務事業名	スポーツ少年団関連事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	スポーツ少年団活動を活発化することで、子ども及び子どもを取り巻く幅広い年代層へスポーツの参画を推進できる。 (小学3～6年生のスポーツ少年団加入率 H29目標:50%)
事業の内容(手段)	●青少年の健全育成を目的に、周南市スポーツ少年団本部に対し、加盟団体の活動を推進するための支援		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					小学3～6年生のスポーツ少年団加入率	小学3～6年生/市内の小学3～6年生の児童数	%	目標値	50.0	50.0	-
								実績値	48.0	47.8	
								達成度(%)	96.0%	95.6%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,486	2,504	0	0	0
		うち一財	千円	2,486	2,504	0	0	0
	(決算額)	直接事業費	千円	2,486	2,504		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	2,486	2,504		30年度よりスポーツ奨励事業費へ組替	
		正職員人件費	千円	293	295			
		人工数	人	0.04	0.04			
	支出コスト	千円	決) 2,779	決) 2,799				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	少子化によりスポーツ少年団は長期的に団員は減少傾向にある。また、水泳など民間のスポーツクラブ、サッカーのクラブチームに加入するなど必ずしもスポーツ少年団に加入を必要としないケースも増えている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツ少年団員の減少により活動が困難となったり、地域間で連合をせざるをえない団体もある。一方、中学校の部活動あり方が問われており、民間や総合型地域スポーツクラブ等との連携も問われている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	本事業は、スポーツ少年団本部の取組みを支援する事業であり、市は、直接、加入促進の取組を実施しないことから、平成30年度より、本補助金は「スポーツ奨励事業」に組み替える。	評価責任者コメント	人口減少によりスポーツ少年団等の人数が減少しているが、スポーツに対する関心は2020年の東京五輪に向け、ますます高まると思われる。今後、学校部活動が民間や地域スポーツクラブとの連携が求められてくることを踏まえ、これまでの地域や個々の団体の枠を超えた連携が可能か検証されたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
平成30年度より、スポーツ奨励事業費へ予算を組替え。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	スポーツ少年団活動費補助金	スポーツ少年団活動を補助し、子どもの体力づくりを推進する。	青少年の健全育成を目的に、周南市スポーツ少年団本部に対し活動費を補助	2,504 否	0.04		
②							
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	017080	事務事業名	スポーツ交流地域活性化推進事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	スポーツ活動に参画する機会を提供し、スポーツ人口の拡大とスポーツ交流による地域活性化を推進する。 (トップアスリート交流事業参加者 H29目標:500人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ人口の拡大や競技力の向上につなげるため、トップアスリート関係者との交流機会を創出</li> <li>●スポーツボランティアを活用し、大規模大会での「おもてなし事業」を実施</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	トップアスリート交流事業参加者	達成項目/目標項目	人	目標値	500.0	500.0	500.0
				実績値	465.0	455.0	
				達成度(%)	93.0%	91.0%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	1,920	2,100	2,000	2,000	2,000
	(予算額) うち一財	千円	960	1,050	1,000	1,000	1,000
	直接事業費	千円	1,555	1,900		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	778	920			
	正職員人件費	千円	806	1,032			
	人工数	人	0.11	0.14	0.15		
支出コスト	千円	決) 2,361	決) 2,932				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	H26まで実施していた「スポーツセミナー開催事業費」、「スポーツボランティア養成事業費」、「我がまちスポーツ推進事業費」を継承した。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツボランティアの仕事への理解を深め、活躍の場をPRすることで登録者数の増加を図る必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	トップアスリートとの交流やボランティアの活用だけでなく、総合型地域スポーツクラブ等の団体と連携し地域コミュニティを創出することが求められている。		評価責任者コメント	大規模大会や地域のスポーツ活動を「支える」立場である指導者、団体及びスポーツボランティア等を活用し相互に連携できる体制づくりを進められたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
大規模大会での歓迎横断幕等やスポーツボランティアを活用したおもてなしにより、スポーツコンベンションの推進に繋げる。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	トップアスリート交流業務	トップアスリートの講演会を通して、「する」「観る」「支える」スポーツへの関心を高める。	トップアスリートによる指導を行う。	1,000 否	0.09		
②	スポーツボランティア養成・活用	スポーツボランティアを活用し、大規模大会での「おもてなし事業」を実施	スポーツボランティアを活用した「おもてなし事業」にかかる業務を体育協会へ委託	900 可	0.05		
③							
④							
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161014	事務事業名	スポーツ推進委員関係経費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	スポーツ推進委員	事業の目的(意図)	地域に密着したスポーツ推進委員と地域団体の連携により、地域に則した方法でスポーツ人口を拡大できる。(スポーツ推進委員の各種事業等への延出席者数 H29目標:1,000人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツ推進委員の資質向上のため協議会の運営を行う。</li> <li>●周南3市で連携し、協議会の運営を行う。</li> <li>●山口県と連携し、協議会の運営を行う。</li> <li>●中国地区と連携し、協議会の運営を行う。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					スポーツ推進委員の各種事業等の延べ出席者数	達成項目/目標項目	人	目標値	1,000.0	1,000.0	1,000.0
								実績値	1,153.0	1,326.0	
								達成度(%)	115.3%	132.6%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,795	4,823	4,756	4,842	4,842
		うち一財	千円	4,795	4,823	4,756	4,842	4,842
	(決算額)	直接事業費	千円	4,528	4,571		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	4,528	4,571			
		正職員人件費	千円	2,491	2,431			
		人工数	人	0.34	0.33	0.32		
	支出コスト	千円	決) 7,019	決) 7,002				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成23年6月24日に「スポーツ基本法」が交付され、従来の体育指導員から「スポーツ推進委員」となった。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 中山間地域等の人口減少により、活動が減少している地域においては、スポーツや健康づくり活動を全体的視点でサポートしていく必要がある。各地区スポーツ振興会、健康づくり担当課との連携が課題。
	評価	A	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	本市のスポーツを推進するうえで、指導者的立場であるスポーツ推進委員個人の資質向上を図ることが重要であり、また各地区スポーツ振興委員会との連携をこれまで以上に密にすることが重要。		評価責任者コメント	スポーツ推進委員は、市行事等の支援だけでなく、委員個人の資質を高め、スポーツ活動のコーディネーターとしての役割が一層求められている。引き続き、市民の健康増進、人や地域を繋げるよう、自主的かつ積極的な取り組みを進められたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
改選により委員数の増加が見込まれるため報酬等は増額となったが、研修講師謝金等を精査した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	スポーツ推進委員	スポーツ推進委員の資質向上のための各種事業への参加を増加	座学研修会等を開催し、更なる資質向上が図られた。	4,274 否	0.26		
②	周南地域スポーツ推進委員協議会	地域協議会の研修会等に参加し、情報収集、情報交換の場とする	下松市で開催された研修会に参加し、3市の連携、情報交換、情報共有が図られ、推進委員の資質向上に努めた。	70 否	0.03		
③	山口県スポーツ推進委員協議会	県と連携してのスポーツ推進委員協議会の運営	岩国市で開催された研修会に35名が参加し、県全体の協議会と情報交換・共有を行い、推進委員の資質向上に努めた。	87 否	0.03		
④	中国スポーツ推進委員協議会	中国地区研修会に推進委員を派遣し、先進地の情報収集等を行う	H29年度県研修会と同時開催(岩国市)	140 否	0.01		
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161017	事務事業名	地区スポーツ振興事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	スポーツによる地域活動を通して、地区住民の連帯感を高め、地域づくりを推進することができる。 (地区スポーツ事業参加者数 H29目標:26.0%)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの育成・拡充を推進する</li> <li>各地区スポーツ振興団体の運営費を補助を行う</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	地区スポーツ事業参加者率	地区スポーツ事業参加者率(参加者/人口)	%	目標値	—	26.0%	26.0%
			実績値	—	21.3%		
			達成度(%)	—	81.9%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	3,527	3,437	3,437	3,347	3,347
(予算額) うち一財	千円	3,527	3,437	3,437	3,347	3,347	
直接事業費	千円	3,432	3,409		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	3,432	3,409				
正職員人件費	千円	879	1,695				
人工数	人	0.12	0.23	0.33			
支出コスト	千円	決) 4,311	決) 5,104				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	少子高齢化等による環境の変化で、地域に求められるスポーツ振興団体のあり方が、変化してきている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 人口減少により地区によっては、活動を縮小している団体もあり、地域の実情に合った取り組みが必要となる。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	各地区のスポーツ事業の参加率の目標値を達成しているが、次世代の人材育成及び各地区ごとの特色ある活動が求められる。		評価責任者コメント	活動規模が縮小・停滞している団体もあるが、スポーツをする機会が失われ地域の活力が減退しないよう、人・地域・組織を「まとめる」「繋げる」取組みを推進すること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
団体数の減少に応じて、予算を減額した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	総合型地域スポーツクラブ	山口県、県体育協会と連携して総合型地域スポーツクラブの普及、啓発	新規設立地域の開拓、新規クラブの設立1地区	0 否		0.04	
②	スポーツ振興委員会	各地区スポーツ振興委員会への補助金交付	地区スポーツ団体の活動を推進	3,409 否		0.12	
③	ニュースポーツ推進事業	ニュースポーツ等の器具の貸出しにより市民が手軽にできる運動できる機会を提供する。	ニュースポーツ等の器具の貸出し。ニュースポーツの普及推進。	0 否		0.03	
④	スポーツ教室	地域住民が運動しやすい環境作りを進め、生活習慣病予防につながる運動習慣を身に付けてもらう。	地区スポーツ振興委員会やスポーツ推進委員と連携したスポーツ教室の開催 日本体育協会が進めるACP(アクティブチャイルドプログラム)事業に協力する。	0 否		0.04	

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161019	事務事業名	トレーニングルーム運営事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	安心・安全を確保するために専門指導員を配置することで、施設利用者の増加や市民の体力づくりを推進できる。 (利用者人数 H29目標:15,000人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民が自発的に健康づくりを行うため、専門指導員による会員制トレーニングルームを運営する。</li> <li>●市民の健康づくりのため有料制のトレーニングルームを開放する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					新南陽利用者人数	達成項目/目標項目	人	目標値	15,000.0	15,000.0	15,000.0
								実績値	11,820.0	12,916.0	
								達成度(%)	78.8%	86.1%	

事業費	項目		単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	2,828	2,915	2,965	2,987	2,987
		うち一財	千円	458	567	626	640	640
	(決算額)	直接事業費	千円	2,746	2,773		対30年度増減理由	対31年度増減理由
		うち一財	千円	486	437			
		正職員人件費	千円	366	368			
		人工数	人	0.05	0.05	0.05		
	支出コスト	千円	決) 3,112	決) 3,141				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年度より		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 毎年の器具の修繕等の費用が捻出できるよう、引き続き利用促進を図っていく。また、他の施設に比べて低い利用料であることから適性な自己負担のあり方について検討する必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	支出コストに応じた運営を行うため器具の新規購入は控える必要があるが、指導員を活用した健康教室、トレーニング指導など、市民の健康維持に直接つながる取組みを充実していく。		評価責任者コメント	昨年度からの課題をうけ、施設のPRや健康教室など、市民の健康維持に直接つながる取組みにより利用者数が増加した。今後は利用者の意見を聞きながら、適正な自己負担額となるよう検討されたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
人件費の単価が上がったことにより予算額は増額となったが、指導員によるトレーニング指導などの取組みで利用料が増加したことにより、一般財源の伸びは抑制されている。引き続き、利用料等についての検討していく。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	トレーニングルーム運営	専門指導員による会員制トレーニングルーム(新南陽ふれあいセンター内)を運営し、市民が自発的に参加する健康づくり事業を実施	会費収入調定処理、施設の維持管理、指導員の報酬支払及び雇用管理	2,773 可	0.05	1.00	
②							
③							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161032	事務事業名	スポーツ大会開催事業費		
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	生涯スポーツの啓発促進を図ることにより、市民の健康づくり、地域づくりの意識が高まる。(市民スポーツフェスタ参加者数 H29目標:2,000人)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツを「する人」・「観る人」・「支える人」の観点から市民が気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。</li> <li>●各種競技団体の市民大会の開催を体育協会に委託し、アマチュアスポーツの競技力向上及び普及、振興の促進</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	市民スポーツフェスタ参加者数	達成項目/目標項目	人	目標値	3,000.0	2,000.0	3,000.0
			実績値	2,360.0	3,000.0		
			達成度(%)	78.7%	150.0%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	22,888	22,223	22,306	21,924
うち一財		千円	22,888	22,223	21,806	21,429	21,429
(決算額)	直接事業費	千円	22,742	21,840		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	22,742	21,840			
	正職員人件費	千円	10,258	10,020			
	人工数	人	1.40	1.36	1.22		
	支出コスト	千円	決) 33,000	決) 31,860			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	スポーツ基本法の制定に伴い、「する」だけでなく、「観る」、「支える」視点でのスポーツの推進が求められるようになった。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 長年開催し定着している大会が多い。地域コミュニティの活性化にも貢献してきたが、マンネリとならないような工夫や新たな試みも求められている。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	スポーツをしない人がスポーツに関心をもち、日々の生活の一部でスポーツに親しむ契機となるよう、多くの人に参加してもらう必要がある。スポーツフェスタについては身体を動かすことの大切さ・楽しさを認識できる参加型、体験型のスポーツイベントにしていく。		評価責任者コメント	地域間の活動に違いもあるため、各競技団体の大会数は減少している。スポーツフェスタを契機に各種団体がスポーツの裾野を広げる取組みを進めていける仕組みづくりも検討していく必要がある。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
大会運営に支障がない範囲で、需用費や種目別市民体育大会等運営委託料を精査した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	市民スポーツフェスタ	市民の体力づくりのため気軽に参加できるスポーツ大会を開催する。	フェスタ形式の開催とし、市民が気軽に参加できる事業展開を行う。(3,000人)	945 可	0.72		
②	大津島ポテトマラソン	幅広い年齢層の参加者確保と地域活性化	今年度より計測チップを導入するなど外部への委託を行い、スムーズな大会運営が行えた。(実績数:338人)	550 否	0.40		
③	くまげ鶴の里ウオーク大会	幅広い年齢層の参加者確保と地域活性化	地域との連携も図り、参加者数も増加傾向である。(H29実績数:715人)	200 否	0.03		
④	種目別市民体育大会等運営委託料	年間100大会を目標に、参加者の増加に努め競技力の向上を図る。	各種競技団体の市民大会の開催を体育協会に委託(実績数:31種目96大会19,100人)	20,112 可	0.03		
⑤	しゅうなんクリテリウム	本市で実施される「しゅうなんクリテリウム」の開催を支援しスポーツコンベンションによる交流人口の拡大と賑わい創出を図る。	サイクル県やまぐちprojectの取組の一つとして本市で実施される「しゅうなんクリテリウム」の開催にあたってのPRや会場の確保等の支援を行う。	33 可	0.18		

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	161051	事務事業名	スポーツ奨励事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権		事業の分類	(ソフト事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独	
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計	

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	全国大会等出場への祝意を表すことで、スポーツを奨励し、市民のスポーツに対する意識の高揚ができる。表彰することにより、スポーツ選手や団体の意識高揚に繋がり、競技力の向上が図られる。顕彰事業を開催することで、スポーツを奨励し、市民のスポーツに対する意識の高揚ができる。(全国大会出場者 H29目標:500人。)
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●スポーツの奨励、発展を目的に、全国大会等へ出場する市民に対し祝意を表し、祝金を交付する。</li> <li>●スポーツへの関心、競技力の向上を図るため、県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手、団体に対し表彰を実施する。</li> <li>●多くの市民に、プロ野球にふれあう「観るスポーツ」の場を提供するためにプロ野球ウエスタンリーグを開催する。</li> <li>●野球殿堂入りした本市出身の津田恒実投手を顕彰するため、津田恒実杯野球大会等を開催する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	全国大会出場者	達成項目/目標項目	人	目標値	500.0	500.0	500.0
実績値				435.0	494.0		
達成度(%)				87.0%	98.8%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	4,372	4,281	4,854	6,565
うち一財		千円	4,372	4,193	4,854	6,429	4,854
(決算額)	直接事業費	千円	4,367	3,425		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	うち一財	千円	4,367	3,337		隔年開催のウエスタンリーグ公式戦や全日本軟式野球大会の開催による	ウエスタンリーグ公式戦等の開催予定がないため
	正職員人件費	千円	2,638	3,095			
	人工数	人	0.36	0.42			
	支出コスト	千円	決) 7,005	決) 6,520			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成28年度より全国大会等出場祝金事業、社会体育表彰事業及びスポーツ・レクリエーション行事開催事業を本事業の一部へ整理した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 スポーツを奨励し、市民のスポーツ意識の高揚が目的であるため、事業の効果を量ることが難しい。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	活躍する選手を称え、支援していく「祝金事業」「表彰事業」は市民のスポーツに対する意識の高揚を図るため今後も継続していくが、交付金については費用対効果を踏まえ、内容や額が適正か精査していく必要がある。	評価責任者コメント	プロ野球ウエスタンリーグの開催は、本市出身の故津田恒実投手を顕彰するとともに、子ども達がプロの選手から指導を受ける数少ない機会にもなっている。市内外から多くの来客が見込まれ「賑わい」の創出にもつながることから、今後も実施できるよう協議されたい。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
隔年開催のウエスタンリーグ公式戦の開催等により、予算額は増額となったが、スポーツ栄光賞で授与するメダルを個人・団体に統一するなどの精査をした。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	全国大会出場祝金	全国大会等出場への祝意を表すことで、市民のスポーツに対する意識の高揚を図る。	全国大会等へ出場する市民等に対し祝意を表し、祝金を交付(500人)	1,740	0.13		
				否			
②	スポーツ栄光賞授与式	優秀な成績をあげた選手・団体を表彰することでスポーツの奨励、競技力の向上を図る。	県大会以上の大会で優秀な成績をあげた選手・団体に対し表彰を実施(500人)	609	0.10		
				否			
③	プロ野球ウエスタンリーグ開催	多くの市民に、プロ野球にふれあう「観るスポーツ」の場を提供	平成29年5月28日(日)に開催(公式発表5,600人)	576	0.18		
				否			
④	津田恒実杯軟式野球大会開催交付金	故津田恒実氏を顕彰する学童、中学校軟式野球大会を開催する。	大会開催にかかる会場使用料を助成する。(実績数:32チーム)	500	0.01		
				否			
⑤							

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	162005	事務事業名	体育施設管理費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	市民が気軽にスポーツ活動を実施できる環境が整う。 (体育館4施設利用者数 H29目標:350,000人)
事業の内容(手段)	●スポーツ、レクリエーション、文化等の活動の場を提供し、スポーツや文化の振興を図るとともに、だれもが気軽に楽しむことができるスポーツ施設の確保		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度				
					利用者数(体育館4施設)	達成項目/目標項目	人	目標値	450,000.0	350,000.0	350,000.0
								実績値	412,503.0	351,836.0	
								達成度(%)	91.7%	100.5%	

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	276,337	277,554	276,191	276,295	276,295
	(予算額) うち一財	千円	227,688	228,351	207,694	222,565	222,565
	直接事業費	千円	276,203	277,249		対30年度増減理由	対31年度増減理由
	(決算額) うち一財	千円	221,128	223,785			
	正職員人件費	千円	3,737	4,642			
	人工数	人	0.51	0.63	0.78		
	支出コスト	千円	決) 279,940	決) 281,891			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設利用者や指定管理者等への指導、協力を得ながら経費の削減に努めている。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 施設分類別計画の策定協議を通じて、各体育施設の長寿命化、受益に対する負担のあり方が課題となった。効果的な維持管理、適切な受益者負担や減免の取り扱いが課題である。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由
	事務事業の方向性	市民に利用し易く、安心安全な施設の提供を念頭に、指定管理者、関係課と連携し、適切な管理運営に取り組む。	評価責任者コメント	多くの施設で老朽化進んでいるが、人口が減少する中では新たな施設を整備することは困難である。平素から、適切な点検・営繕を行い、施設の長寿命化を図ること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など)	備考
消費税率の引き上げに伴い予算額が増額となったが、内容を精査し増加額を抑制した。	

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	地区グラウンド・地区体育館維持管理	対応が必要な案件に優先順位をつけ、効率的な維持管理を行う。	地区グラウンドの維持管理【利用者数:35,064人(地区グラウンド)、1,637人(地区体育館)】	3,465 否	0.11		
②	放置自動車	放置車両が発生しないよう、関係機関と連携して対応する。	指定管理者や公園管理者と連携し、駐車場等の利用実態を把握、対応を行った。	0 否	0.03		
③	施設管理システム運営	施設利用者の利便性の向上と施設の業務の効率化を図る。	施設管理システム運営を委託	2,994 可	0.07		
④	体育施設指定管理業務	指定管理者、関係課と連携し、適切な管理運営に取り組む。	体育施設の維持管理【利用者数:547,135人(徳山)、41,202人(新南陽)、34,709人(熊毛)、24,428人(鹿野)】	270,733 否	0.40		
⑤	ネーミングライツ更新業務		総合スポーツセンター及び周南市庭球場に関するネーミングライツ契約の更新	0 否	0.02		

平成30年度(平成29年度事業分)周南市事務事業評価シート

事務事業コード	162008	事務事業名	体育施設整備事業費			
担当部・課名	地域振興部文化スポーツ課	評価者(課長)	江波 徹	評価責任者(部長)	原田義司	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	200301	分野	2生涯学習・人権	事業の分類	(施設等管理運営事業)
	基本施策	3スポーツの振興			補助・単独の別	単独
	推進施策	(1)ライフステージ・ライフスタイルに応じたスポーツ文化の推進			会計名	01一般会計

事業の目的(対象)	周南市民	事業の目的(意図)	市民が一層安全で快適なスポーツを実施できる環境が整う。(体育館4施設利用者数 H29目標:350,000人)
事業の内容(手段)	●体育施設を安全で快適に使用できるよう、老朽化・破損が進んでいる施設の修理・改修を計画的に行う。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	28年度	29年度	30年度
	利用者数(体育館4施設)	達成項目/目標項目	人	目標値	450,000.0	350,000.0	350,000.0
			実績値	412,503.0	351,836.0		
			達成度(%)	91.7%	100.5%		

事業費	項目	単位	28年度	29年度	30年度(予算)	31年度(予算)	32年度(見込)
	直接事業費	千円	37,943	47,186	136,260	27,983	34,725
(予算額) うち一財	千円	29,393	14,994	6,260	9,158	18,825	
直接事業費	千円	36,991	40,526		対30年度増減理由	対31年度増減理由	
(決算額) うち一財	千円	33,409	15,584		施設改修工事費の減による。		
正職員人件費	千円	1,612	1,842				
人工数	人	0.22	0.25	0.22			
支出コスト	千円	決) 38,603	決) 42,368				

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	施設利用者や指定管理者等への指導、協力を得ながら経費の削減に努めている。		課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 施設の老朽化に伴う突発的な修繕、改修が発生するため、より細かなところまでの維持管理に注意を払う必要がある。
	評価	B	A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	
	事務事業の方向性	市民に利用し易く、安心安全な施設の提供を念頭に、指定管理者、関係課と連携し、適切な管理運営に取り組む。		評価責任者コメント	多くの施設で老朽化が進んでいるが、人口が減少する中では新たな施設を整備することは困難である。平素から、適切な点検・営繕を行い、施設の長寿命化を図ること。

【改善】 Action

平成31年度当初予算等での改善結果(平成31年度当初予算への反映など) 緊急性・必要性等から優先順位を付けて、次の工事を実施する。 ・総合スポーツセンターカルチャールーム空調設備改修工事 ・周南市庭球場コート張替工事(2面)	備考
---	----

【事務事業を構成する細事業(H29年度事業分)】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	施設の整備	施設利用者に安全で快適な環境を提供する。	体育施設の維持管理【利用者数: 547,135人(徳山)、41,202人(新南陽)、34,709人(熊毛)、24,428人(鹿野)】	40,526 可		0.25	
②							
③							
④							
⑤							